

# 学園だより

## ハイライト:

- 防災避難マニュアルが完成しました。
- 教育講演会は大盛況でした。
- WYSHプロジェクトを行っています。
- 入試の季節となりました。

中1 課外活動～護国神社 2011/12/8

保護者会主催教育講演会 総務主任 成松 茂	1
保護者懇談会～学校からの説明 防災避難がマニュアル完成	2
進路指導部より 進路指導主任 三津幸一 保健室より 養護教諭 野村めぐみ	3
2011年の出来事	4 5
カウンセリングルームより スクールカウンセラー 江藤行大	6
生徒指導部より 指導主任 楠田克彦	7
お知らせとお願い	8

## 保護者会主催教育講演会

総務主任 成松 茂

11月26日(土)、保護者会主催による恒例の教育講演会が開催されました。今年度の教育講演会は2部構成となっており、13時からスタートした第1部では卒業生による「岩田を語るシンポジウム」が行われました。司会は保護者会会長の羽生正宗氏、ゲストパネラーは、同窓会会長野村威雄氏(1回生大分大学医学部講師、大分大学卒)、東京大学医学部特任助教小野敏嗣氏(4回生、東京大学卒)、山田水産石巻事業所長岡田賢二氏(9回生、慶応大学卒)、大分大学医学部5年生川野杏子氏(19回生)で、また学校側からは柳井教頭がコメントーターとして参加されました。シンポジウムの中で、小野氏は岩田の教育で東京大学医学部のような難関大に次々と合格できる秘密や、岡田氏は今回の東日本大震災で九死に一生を得た後、復興に向けた苦労話がありました。野村氏からは岩田に対する激励、川野さんからは岩田での楽しかった思い出などを聞かせていただきました。いろんな方面で活躍する方々の話を出席され

た保護者は熱心に聞かれていました。その後10分間の休憩をはさんで、14時30分から第2部の灘中学校・高等学校の木村達哉先生による「もっと高く!もっと遠くへ!」と題した講演が行われました。先生はご自身の子供の頃の思い出や灘の教員生活での体験をもとに、保護者として子供にどう向き合えばよいのかについてお話しされました。このなかで先生は、自分がほめ方が上手な親なのか怒り方が上手な親なのかを理解したうえで、それぞれのキャラクターに応じた子供の指導を心がけることが子供を伸ばす秘訣であることや、子供の将来については長期的な視野に立って見守り、挫折を克服できる強い子供を育てることこそが最も大切である事を強調されました。ユーモアあふれる口調に会場は終始笑いに包まれ、また時折涙ぐみながらお話しを聞かれる保護者の方もいらっしゃいました。当日講演会にお越し下さった皆様、長時間にわたってご静聴いただきありがとうございました。





## 学園だより

### 保護者懇談会～学校からの説明



11月19日(土)に保護者懇談会が行われました。体育館では9時30分より例年どおり学校から今年度の各分掌の取り組みについて説明がありました。以下は説明会の内容です。

#### 1. 教頭 柳井 修

- 今年度の学校運営について
- 学園祭のお礼
- 教育講演会の案内
- 防災マニュアルについて
- シラバス
- 入試募集の案内



#### 2. 進路指導部より 三浦準一

本校の指定校推薦に関する規定について説明しました。また、外部模試の結果については、順位や判定ではなく苦手分野の確認と次回に向けてその改善を図らせることが重要であることを説明しました。



#### 3. 生徒指導部より 楠田克彦

本校の服装規定について説明。また、生徒の規範意識を高めるため、ルールを明確にし、指導を行っていることをお話ししました。

#### 4. 特別活動より 野村哲也

- 今年の学園祭も高校2年生がよく頑張りと、大成功でした。
- 次期生徒会長が決まり、今後は生徒会の組織が作られていきます。
- 部活動の現状と今後についての説明をしました。

#### 5. 教務より 橋本隆史

高校の進級・卒業に必要な単位の取得についてご説明しました。また、考査に向けては手を動かす勉強、普段からの地道な努力が必要である点をお話ししました。



### 大地震・大津波が襲った場合の防災避難マニュアルが完成する。



今年の大きな出来事として、3月11日の東日本大震災が上げられます。本校の今年度の取り組みとしていた大震災があったときの避難マニュアルがこのほど完成しました。震災時の避難経路や役割分担の確認など専門家の意見を入れながら9ページおよぶものとなりました。

本校の海拔は4.3m。大津波が襲ってきた時は、これより高いマックスバリュ桜坂店(11.4m)または舞鶴高校第2グラウンド(27m)に避難します。また、非常食(目標2000食)や毛布(目標1000枚)、その他マスクやタオル、石けん等の備蓄も行っていま

す。12月8日(木)の午後から中1が総合学習の時間を使い課外活動を兼ねて、避難経路の確認をおこないました。この日は交通に十分注意しながらの移動だったのでマックスバリュまで20分、舞鶴高校第2グラウンドまで25分、護国神社まで30分かかりました。急ぎ足で行くとマックスバリュまでは15分くらいです。護国神社では、神主の八坂さんから神社にまつわるおもしろい話をさせていただきました。

本校では今後毎年防災訓練に避難経路の確認を取り入れることになっています。





## 難関校をめざす意義 進路指導主任 三浦準一

大手予備校の一つである河合塾は、毎年大学入試のランキング表を作成されている。しかしそのランキング表に掲載されない大学・学部も存在する。河合塾はこれらの大学・学部を「BF(ボーダー・フリー)」(簡単に言えば、受験して不合格になることはほとんどない区分)としている。今、地方大学を中心に、ランキングの低下が進んでいる。

大学・学部の新設と少子化の進展もあり、数年前より「大学全入時代」の到来が叫ばれて久しい。東大をはじめとする旧帝大クラスや、早慶などの都心部の有名私大、医学部などの難関学部では依然として厳しい受験競争が見られ、ランキングの変動はほとんど見られない。しかし、昨今の経済情勢による地元志向の強まりの一方で、都心部の難関大学を目指す高校生が多いこともあり、地方大学では一部の学部以外でランキングの低下が進み、以前よりも格段と合格しやすくなっている。

その結果、大学・学部を選ばなければ、

誰でも「大学生」という肩書きを手に入れることができるようになった。そして、「大して努力しないでも入れる大学があるのだから、中学・高校時代に学力を高めるための努力などをせず、楽しく遊べばよいのではないか」という考えが一部(?)に広まったのではないかと危惧している。高校生のこのような考えに、大学の学力を問わない形式の入試などを導入して学生を早めに確保したいとの意図があいまって、大学のランキングに変化が進み、いわゆる「BF」も現れたのではないだろうか。

マスコミ報道でもよく耳にするように、現在の大学では、学習意欲の欠如や学力低下が大きな問題となっており、大学の多くで高校内容の補講が行われている。また一部の大学では、新入生の1年生時点での中途退学率が10%を超え、4年間では実に学生の4人に1人が退学している(中央公論新社の『大学生の実力 2012』参照)。また、大卒新入社員の約3割が3年以内に離職している(厚生労働省職業安定局「新規

学卒就職者の在職期間別離職率」というデータもある。確かに、大学生の意識は昔と比べて変化している。

中学・高校時代に、簡単なこと、楽なこと、面白いことに目を向けて時間を費やし、やらねばならぬことに背を向けていては、人は変わることが出来ません。自分自身を成長させてくれる難しいこと、大変なことに向かっていくことが大切なのです。それは大学受験だけではなく、その後の人生にも大きな影響を与えるはずです。

「自分の人生の可能性を広めるのも自分、狭めるのも自分」です。岩田生のみなさんは、学習に学園生活に真剣に取り組む、いろんな苦勞をしてもらいたい。大学受験についても、楽に行ける大学ではなく、自分の夢を実現できる可能性の高い大学をめざし、そのための努力をたくさん重ねて人間的にも成長していつてもらいたいと考えています。

## ほけんしつから

風邪が本格的に流行り始めました。マイコプラズマ肺炎や感染性胃腸炎に罹患しているお子様も数名います。手洗い・うがい・マスクの着用を強化してくださいね。各ご家庭での健康観察もよろしくお願いします。

### 子宮頸ガン予防ワクチンについて

5年生女子3回目の接種日が決定しま

## 養護教諭 野村めぐみ

した。  
日時：12/20(火) 昼休み12:40~12:55  
持参物：予診票  
となっていますのでよろしくお願いします。  
5年生の子宮頸ガン予防ワクチンはこれで終了となります。

### 27回生WYSHプロジェクト

12/15(木)~12/16(金)に27回生対象のWYSH授業(性教育)が実施されます。授業担当は中川先生です。理科の先生らしい工夫を凝らした授業となっています。授業の様子・子どもたちの感想など詳しいことは、後日報告させていただきます。各ご家庭でも授業の内容・感想など機会があればぜひ話をされてみてください。

## またまだ心配がたぎるインフル ☆ おうちの人による登校前の健康観察をお願いします

体温が平熱よりも  
↑  
1℃高いときは  
休養をおすすめします。

はあ...

無理をして登校する場合は...  
体育の見学届などの準備と  
いつでも早退できるように  
連絡先の確認を忘れずに!!

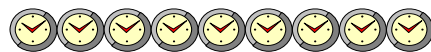
わかった  
家にいるから

欠席・遅刻の連絡は朝のうちに。  
症状をくわしく教えていただけると  
助かります。

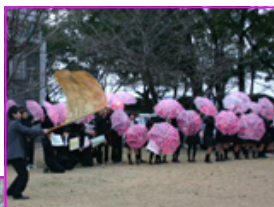
インフルの場合  
出席停止です  
××欠席扱いにはなりません××



# 2011年のおもな出来事



## 1月



### 極寒の中、大学入試センター試験始まる。

1月15・16日両日大学入試センター試験が行われ、本校の高校3年生IWATAコース110名が受験しました。  
 本校の受験会場は14回生以来10年ぶりとなる日本文理大学でした。  
 初日となる1月15日には朝早くから在校生・職員・保護者などたくさんの方が見送りに集まりました。  
 5回生のセンター試験出発式から始まった恒例の冷水かぶりには高2の有志が多数参

加しました。  
 今年の寒さは例年に比べ一段と厳しく、前日の最低気温は-2℃、当日も1℃で水行の中止も検討されましたが、後輩の熱意で決行となりました。  
 2日目は前日からの雪が積もり(大分市内積雪3cm)、市内の道路はいたるところで凍結しました。  
 集合時間に間に合うか心配されましたが予定より15分早く出発をしました。



## 2月



### 目標は体力向上！中1～高2で20kmの強歩大会

2月10日(木)、本校としては初の試みとなる強歩大会を大学受験最中の高3を除く全校生徒で実施しました。  
 近年、全国的に児童・生徒の体力は下降傾向が心配されています。本校では体育科を中心に、今年度より「基礎体力を作る」ことを念頭に毎授業で「岩田アップトレーニング」の導入・実施、冬場においては「持久力走」にも取り組んできました。このような取り組みの総仕上げとして、強歩

大会を実施することになりました。この大会を通して基礎体力・持久力・忍耐力の確認、また強歩することによる達成感・充実感を体験することを目的としています。  
 これまで本校は鍛錬遠足や強歩大会等を行ってきましたが、今回は距離が長く心配されました。しかしその心配もよそに全員が制限時間よりはやく完走することができました。



## 3月



### APU立命館コース修学旅行、元気に帰国

高1 APU立命館コース(4の4)の生徒14名、現地で合流したTA(ティーチングアシスタント)の韓国人APU国際学生3名、引率教員2名、計19名は3月11日から4泊5日の日程で韓国江陵市(カンヌン市)へ研修旅行を行いました。仁川空港から高速バスをつかって約4時間到着した東海岸の人口22万人のカンヌン市には、日本人はほとんどいません。心細い思いでフィールドリサーチに取り組みましたが、TAの指導やアドバイスで無事課題を終えることができた。

ました。最終日はソウル観光をし、韓国を満喫して帰国しました。  
 また、高2 APU立命館コース(5の4)の生徒13名、引率教員2名、計15名も同じ3月11日から7泊8日の日程で研修を行いました。高2はシンガポールでフィールドリサーチをした後、マレーシアでホームステイをしながら、マレーシア工科大学の先生の指導で英語研修を行いました。特に3泊したホームステイはとても思い出深いものになったようです。



## 4月



### 第19回岩田芸術鑑賞会は東京シビックカルテット弦楽四重奏コンサート

4月27日(水)、毎年恒例の芸術鑑賞会を行いました。19回目の今年は東京シビックカルテットによる弦楽四重奏コンサートでした。  
 今回は、熊川哲也パレエカンパニーのオーケストラに所属しているメンバーで、岩田学園のコンサートのためにカルテットを組んで頂いたそうです。音楽科坂本文郎先生の話「東日本大震災の後ということもあって、少し難しいとは思いましたが、被災者の方のレクイエム(鎮魂曲)を意識したプログラムでした。海外での演奏機会は多いけれど、日本では上演の少ない本格的なプログラムで、奏者も前日・当日共に時間の許す限り真剣に練習していました。」追悼の気持ちや、難曲に取り組む演奏者の真剣さが伝わったからでしょうか、一部の生徒からは「引き込まれそうになった。」「災害のニュースを思い出した。」等の声も聞きました。

ました。最終日はソウル観光をし、韓国を満喫して帰国しました。  
 また、高2 APU立命館コース(5の4)の生徒13名、引率教員2名、計15名も同じ3月11日から7泊8日の日程で研修を行いました。高2はシンガポールでフィールドリサーチをした後、マレーシアでホームステイをしながら、マレーシア工科大学の先生の指導で英語研修を行いました。特に3泊したホームステイはとても思い出深いものになったようです。



## 5月



### 保護者総会が行われ、新会長に羽生正宗氏

5月7日(土)に保護者総会が開催されました。  
 総会では昨年まで保護者会会長であった河越祐人氏と副会長の菅原郷子氏の退任に伴い新会長の選出を行いました。会長に羽生正宗(はにゅう まさむね)氏、副会長

に佐藤真千子(さとう まちこ)氏が満場一致で選出されました。  
 また、平成23年度の活動方針と予算案も承認されました。総会のあと各クラスから選出された幹事から常任幹事が選ばれ、保護者会の新執行部が発足しました。





## カウンセリングルームより

みなさん、こんにちは。スクールカウンセラーの江藤です。朝の学校までの通り道で見かける皆さんの顔が真っ赤に染まっているのを見かけるたびに毎日の風の寒さを感じます。

先日の12月11日の夜遅くの空を皆さんは見上げましたか？その夜は日本では11年ぶりの皆既月食。ぼくが23時近くに部屋の隣にある公園にマフラーを巻いて出掛けるともうそこにはたくさんの人たちがどこからかやってきていて同じように夜空に浮かぶ月を眺めていました。

地球が月と太陽の間にちょうど重なることで影を作って月食は太陽の光を反射して光る月を見ている地球にいるぼくらには急ぎ足で月が隠れていくように見えました。その月はまるで子供の頃に社会見学で見た新日鉄の高炉で燃える鉄の塊のように真っ赤に色を変えてそれを見ただけで不思議なワクワクした気持ちになっていくのをぼくは感じていました。

当たり前そこにそこにあるはずのものがなくなる。それはこんなにも科学が発達した現代に生きているぼくたちです。いつも見上げることに慣れてしまっていた月が姿を消すことに驚いて心を騒がしてしまいます。まだ星の動きの仕組みを科学的に理解できなかった今から1800年も昔の邪馬台国の時代にはなおさらだったことでしょう。

最近の星の研究ではちょうど卑弥呼がなくなった頃といわれる247年と248年に北九州地方では皆既日食があったということがわかりました。日食を前後として、卑弥呼は死んで再び国は大いに乱れたと魏志倭人伝では語られています。

もしかしたら、邪馬台国の人たちは、欠けていく太陽によっていつもの風景が変わっていくことに大きな不安を感じて、その不

## スクールカウンセラー 江藤行大

安を解決する為の集団的行動として国を再び乱してしまったのかもしれませんが。（少しファンタジーが強すぎるかな。。。）？だけでももしかしたらこうした当時のぼくたちが理解できない自然の変化が神話と結びついてずっと昔から伝説のように語られ続けてきた神話の中の天照大御神と卑弥呼を同一視するお話になっていったのかもしれないと月が欠けていくを見上げながらぼんやりと考えていました。

### 不安と恐怖のこと。

最近12月に入った頃のこと、ある受験生の生徒が「受験が不安なんです。」「夜も不安であり眠れないんです。」とカウンセリングルームにやって来ました。寝不足を物語ったその生徒の目は真っ赤で、ぼくはその辛さに同情しながらお話を聞いているうちに、実はその子が感じた感情は不安ではなく恐怖なんだということがわかってきました。

ぼくたちが感じる感情の内、不安と恐怖という一見とても似ていて実のところ違う二つの感情があります。不安とはそのドキドキや心騒ぐことの原因や対象が漠然としていて感じている本人もその正体を把握できていないものに対する感情のことで、またそれに対して恐怖とは、特定の対象に対する恐れのことです。

一秒先も予想できない時間軸の上で生きているぼくたちは常に先に起こることそして出会うことに対する漠然とした不安を持つ生き物です。けれどもその不安という感情の根っこにあるものの正体に気がつくことで不安を恐怖（恐れ）という感情に変えていくことが可能になるのです。

部活の試合の時やぼくたちがなにかと戦う時、ぼくたちは目に見えない敵と戦うことは出来ません。相手をよく知ることで

初めてその対策ができ、戦略を立てることが可能となります。そして、その練習を積むことでそれまでできなかった事が出来るようになって、少しずつ自信を深めていくこと。それを繰り返すことによっていつの間にかそれまで抱えていた感情が変化していることに気がつく事が出来ます。この過程こそが不安を恐怖に捉え直して乗り越えていくということなのです。

だけどこれまで経験したことのない受験や進路、そして違う環境へ向かうということはあまりにその目的が大きすぎて漠然としすぎていて、そこで生まれて来る感情とうまく付き合えないと感じることもあります。その感情は、時には自分自身や周りの人との関係に影響して悩んでしまったりすることもあります。もしもいつかそんなことを感じた時には、ぜひカウンセリングルームに遊びにきてください。いろいろなお話をしながら、あなたがあなたでいれるようにいつだって応援しています。

**毎週水曜日の午前9時から午後6時まで。  
あなたが遊びに来てくれるのをカウンセリング  
ルームで待っています。**





## 生徒指導部より

12月23日(金)から1月9日(月)まで冬季休業となりますが、その間、自主登校などがあり、決して長い休みではありませんが、自己を見つめ直す絶好の機会です。自分の目標を立てて、その実現に向け計画を立て実行しましょう。以下に生活心得を示しますので確認しておいて下さい。

### 1.家庭での生活について

- (1) 1日の生活時間の計画を立てて、規則正しい生活を送りましょう。
- (2) 健康管理に注意しましょう。また、虫歯や疾病などの治療を休み中に行いましょう。
- (3) 積極的に読書の時間を見つけ、幅広い教養を身につけましょう。

### 2.学習について

- (1) 2学期の学習について反省し、不得意教科については、その学習内容を十分復習して3学期に備えましょう。
- (2) 各教科から出されている課題を計画的に進め、始業日に全教科提出しましょう。
- (3) 1月23日(月)、24日(火)に**実力考査**を実施します。

### 3.交通安全・公共マナーについて

- (1) 交通ルールを遵守し、事故に遭わない・起こさないようにしましょう。もし、事故に遭ったり・起こしたりした場合はそれが小さな事故でも必ず警察に通報すること。相手の名前や連絡先、車の場合はナンバーや車種・色を確認すること。あわせて学校・担任にも連絡をして下さい。
- (2) 自転車の二人乗り、並進、傘差し運転、信号無視等絶対にしてはいけません。また、自転車運転中に携帯電話の使用や画面の注視は禁止。大音量で音

## 生徒指導主任 楠田克彦

- 楽を聴くことやヘッドホンなどを使用しながらの運転も禁止です。違反者には5万円以下の罰金が科せられます。
- (3) 自転車は防犯登録をし、必ず**施錠(2ロック)**するようにしましょう。
  - (4) 自転車は所定の場所に駐輪し、決して点字ブロックや歩行者の邪魔になるような場所には留めないようにしましょう。また、**トキハ前道路(中央通り)の歩道は駐輪禁止**となっています。
  - (5) **J R・バスの中、公共の施設ではマナーや施設の規則を守り、他の人に迷惑にならないように**しましょう。特に、J R・バスでは高齢者や身体の不自由な人には積極的に席を譲りましょう。
  - (6) **運転免許の取得は禁止**です。また、無免許運転をしてはいけません。

### 4.校外生活について

- (1) 外出について
  - ・外出の際は必ず家の人に行き先、用件、帰宅時間を知らせておくこと。
  - ・外出の際の服装は制服または清楚なものとし、必ず身分証明書を携帯すること。
  - ・夜間外出については、中学生は19時まで、高校生は21時までとする。なお、女子については、日没後の外出を慎むこと。
  - ・深夜(午後11時～翌日の午前4時)の青少年の単独、もしくは集団での徘徊は「青少年のための環境浄化に関する条例」で補導対象となります。保護者同伴であっても許可されません。
  - ・次にあげる場所は生活指導上好ましくないので保護者同伴でない限り**立入を禁止**します。  
喫茶店・カラオケボックス、インターネットカフェ(飲酒・喫煙を伴う恐れのある場所)・ゲームセンター・ゲームコーナー(高額のお金銭負担につながる遊技場)などまた、日没後、公園、寺社やそ

- の境内、墓地には立入禁止です。
- (2) 部活動・練習試合等・自主登校について
    - ・普段の登校と同様、制服、体操服、部でそろえたもので登校し、貴重品に関しては必ず、部の顧問、担任に預けること。
    - ・自転車も許可されている生徒のみで、携帯電話は持ち込み禁止(許可者でも校内での使用は禁止)。他校への練習試合などでも同様です。
  - (3) 旅行・登山について
    - 旅行や登山などを行うときは、必ず保護者の同意を得て、事故が無いようにつとめましょう。なお、**冬山登山は危険**ですので控えること。
  - (4) 補導を受けたとき
    - 万一、警察官・補導員より補導を受けた場合は、身分証明書を提示し素直な態度をとること。
  - (5) アルバイトは禁止です。
  - (6) 飲酒・喫煙・窃盗・万引・薬物乱用などの反社会的行動はしてはいけません。

### 5.インターネットなどについて

- (1) 最近はインターネットでの出会い系サイトなどの有害情報によるトラブルや犯罪にあう被害が急増しています。パソコンや携帯電話などでそのようなサイトの利用を禁止します。また、保護者の方は必ずフィルタリングをかけて下さい。また、かけたフィルタリングをはずすことがないようにお願いします。(詳しくは携帯電話各社にお問い合わせ下さい。)
- (2) インターネット上の掲示板・ブログ・プロフなどに他人に対して誹謗・中傷を決して書き込んではいけません。



今年も残すところあとわずか。一年たつのは早いですね。  
よい年をお迎えください。来年もよろしくお祈りします。  
～岩田学園職員一同

## 受験シーズン到来！岩田中高願書受付始まる。

大学入試は指定校や一般推薦の合格通知が次々と入っています。IWATAコース24回生はいよいよ大学入試センター試験に向かって最後の追い込みとなりました。また、2回目の卒業生を出すAPU立命館コースの生徒は、全員の進学先が内定しました。

本校の来年度の募集も始まり、初日12月12日(月)にはたくさんの保護者が志願票を持って来校しました。今年は中学・高校ともほぼ例年どおりの日程となっています。

受験生がいるご家庭に吉報が届くことを心からお祈り申し上げます。今後の日程は次の通りです。

### 岩田中学の入試日程

12月17日(土) 適性検査・一般入試願書締切り  
23日(金) 中学推薦適性検査  
1月4日(水) // 一般入試  
6日(金) // 推薦入試  
7日(土) // 合格発表  
21日(土) // 入学者登校日

### 岩田高校の入試日程

1月14日(土) 推薦入試願書締切り  
1月19日(木) 推薦入試および合格発表  
25日(水) // 入学手続き締切り  
28日(土) 一般入試願書締切り  
2月5日(日) // および合格発表  
13日(月) // 入試手続き締切り  
18日(土) 入学者登校日  
入学式は4月6日(金)、校外オリエンテーションは4月9、10日の予定です。

### 同窓会(樟友会)総会のお知らせ



年々盛大になってまいりました樟友会総会が今年も例年どおり12月30日に行われます。お知り合いの卒業生がいましたら、ご連絡をお願いします。(伏見)

☆日時: 12月30日(金)

受付開始16:30～

総会開始17:00～

懇談会 18:00～

終了19:30

☆会場: 大分東洋ホテル

☆会費: 5,000円(1～12回生)

3,000円(13～19回生)

2,000円(20～23回生、

現・旧職員)

## APU立命館コース第2期生の進学先内定の報告

来春卒業予定のAPU立命館コースの進学先が内定しましたのでご報告します。このコースは全員が推薦入学となります。中学に入学した岩田生は高校に入学するときに受験コースのIWATAコースとこちらのコースを選択します。

- APU — アジア太平洋学科 4名  
国際経営学科 3名
- 立命館大学 — 法、文、産業社会、経営  
国際関係、政策科学、  
各1名、計6名

### 学園だよりも掲載

ホームページをご覧ください。

<http://www.iwata.ed.jp/>

## 岩田学園総務部広報課

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校